「経営一般」該当届

			西曆	年	月	日
(申込者)	住	所				
	名	称				
	代 表	者				
	電	話	()		

次ページのとおり、「経営安定融資(経営一般)」の融資対象に該当することを届け出ます。

≪ 注意事項 ≫

- (1) この該当届は、融資申込書の添付資料として、融資申込窓口に提出してください。
- (2) この該当届は、融資申込みの資格要件です。虚偽等により内容に齟齬があった場合には、融資が受けられないことがあります。
- (3) この該当届は、あくまで融資対象に該当することを届け出るものであり、金融機関及び保証協会が融資の審査を別に行います。その審査によって、融資の諾否や融資金額が決定されます。

様式 35:「経営一般」該当届(経営一般)2/全3ページ

≪ 該当事由 ≫

次の $1 \sim 6$ の中で該当するもの一つを選んで番号にO印を付し、枠内に必要事項を記入してください。

1 最近3か月間の売上高が前年同期と比較して、5%以上減少している。

売 上 高 減少の理由		
最近3か月間の売上高 (年 月~ 年 月)	前年同期の売上高 (年 月~ 年 月)	減 少 率 (5%以上が要件)
(a)	(b)	100 − (a÷b) × 100
千円	千円	%

[※] 売上高が確認できる書類(試算表、帳簿の写し等)を添付してください。

2 最近3か月間の売上高が令和2年1月以前の直近同期と比較して、5%以上減少している。

売 上 高 減少の理由		
最近3か月間の売上高 (年 月~ 年 月)	R2/1 月以前の直近同期の売上高 (年 月~ 年 月)	減 少 率 (5%以上が要件)
(a)	(b)	100 − (a÷b) × 100
千円	千円	%

[※] 売上高が確認できる書類(試算表、帳簿の写し等)を添付してください。

3 製品等の売上原価のうち 20%以上を占める原油等の仕入価格が 20%以上上昇しているにもかかわらず、製品等価格に転嫁できていない。

(1) 原油等の仕入単価の上昇

最近1か月間の平均仕入単価	前年同期の平均仕入単価	上 昇 率
(年月)	(年月~年月)	(20%以上が要件)
(a)	(b)	(a÷b) × 100 − 100
千円	千円	%

(2) 原油等が売上原価に占める割合

売上原価に対応する仕入価格 (年 月)	最新の売上原価 (年 月)	依 存 率 (20%以上が要件)
(a)	(b)	(a÷b) × 100
千円	千円	%

^{※ 「}最近3か月間の売上高」は「実績」(申込みの前々月を含む3か月間)の記入が原則です。ただし、「売上高減少の理由」から、今後の売上減少が確実であると認められる場合には、例外的に「今後3か月間(申込みの翌月を含めた3か月)の売上見込み」を記入することができます。

^{※ 「}最近3か月間の売上高」は「実績」(申込みの前々月を含む3か月間)の記入が原則です。ただし、「売上高減少の理由」から、今後の売上減少が確実であると認められる場合には、例外的に「今後3か月間(申込みの翌月を含めた3か月)の売上見込み」を記入することができます。

様式 35:「経営一般」該当届(経営一般)3/全3ページ

(3) 製品等価格への転嫁の状況

最近3か月間の平均仕入単価 (年 月~ 年 月)	最近3か月の平均売上高 (年 月~ 年 月)	割合
(a)	(b)	(a÷b) × 100
千円	千円	%
前年同期の平均仕入単価 (年 月~ 年 月)	前年同期の平均売上高 (年 月~ 年 月)	割合
(年月~年月)		割 合 (c÷d) × 100

^{※(1)~(3)}の内容が確認できる書類(試算表、帳簿の写し等)を添付してください。

4 金融機関からの総借入が前年同期と比較して10%以上減少している。

直近の借入金残高 (年 月 日)	前年同期の借入金残高 (年 月 日)	減 少 率 (10%以上が要件)
(a)	(b)	100 − (a÷b) × 100
千円	千円	%

[※] 借入金残高が確認できる書類(決算書、試算表、帳簿の写し等)を添付してください。

5 倒産等企業に事業上の債権を有している。

倒産等企業の名称	倒産等企業の所在地	債 権 額
		千円

- ※ 債権額が確認できる書類(請求書や帳簿の写し等)を添付してください。
- ※ 倒産等企業の確認ができること又は倒産等企業が東京都へ届出をしていることが必要です。

6 災害により事業活動に影響を受けている。

|--|

※ 当該災害について官公庁が発行するり災証明を添付してください。

[※] 借入金には「手形割引」及び「電子記録債権割引」を含みません。